【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成26年4月24日(2014.4.24)

【公開番号】特開2012-189397(P2012-189397A)
【公開日】平成24年10月4日(2012.10.4)
【年通号数】公開・登録公報2012-040
【出願番号】特願2011-52127(P2011-52127)
【国際特許分類】
Ｇ０４Ｂ　37/05　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０４Ｂ　37/05　　Ｆ

【手続補正書】
【提出日】平成26年3月7日(2014.3.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
少なくとも１本の指針を有し、該指針を回転駆動するムーブメントと、
前記ムーブメント上に重ねて設置され、光を受光することにより電力を生成し、該電力を前記ムーブメントに供給する太陽電池と、
前記太陽電池の表側に重ねて設置されたリング状の枠体とを備え、
前記枠体は、前記太陽電池側の部分に、前記太陽電池を固定する太陽電池固定部と、該太陽電池固定部と異なる位置に設けられ、前記ムーブメントを固定するムーブメント固定部とを有することを特徴とする時計。
【請求項２】
前記太陽電池固定部は、前記枠体の内周部に該枠体の中心に向かって突出形成され、前記枠体の中心を介して対向配置された、前記太陽電池の裏面に係合する少なくとも一対の小片を有する請求項１に記載の時計。
【請求項３】
前記太陽電池固定部は、前記各小片と異なる位置に当該時計の裏面側に向かって突出形成され、前記太陽電池の縁部に係合する少なくとも１本の係合ピンを有する請求項２に記載の時計。
【請求項４】
前記係合ピンは、前記枠体の中心を介して一対対向配置され、前記太陽電池を前記枠体に対して位置決めをする機能を有する請求項３に記載の時計。
【請求項５】
前記枠体は、その前記太陽電池側の部分に、深さが段階的に変化した段差部を有し、
前記段差部で囲まれた部分に前記太陽電池および前記ムーブメントが配される請求項１ないし４のいずれかに記載の時計。
【請求項６】
前記太陽電池固定部は、前記段差部から前記枠体の中心に向かって突出し、該枠体の周方向に沿って複数配置された突部を有する請求項５に記載の時計。
【請求項７】
前記ムーブメント固定部は、当該時計の裏面側に向かって突出形成され、前記枠体の中心を介して対向配置された、前記ムーブメントの縁部に係合する少なくとも一対の係合片

を有する請求項１ないし６のいずれかに記載の時計。
【請求項８】
前記指針が指し示す文字、記号、図形および目盛りのうちの少なくとも１つが付された、光透過性を有する文字板をさらに備え、
前記枠体は、前記太陽電池と反対側の部分に、前記文字板を固定する文字板固定部を有する請求項１ないし７のいずれかに記載の時計。
【請求項９】
前記文字板と前記太陽電池とは離間して配置される請求項８に記載の時計。
【請求項１０】
前記ムーブメントをその裏面側から覆う裏蓋をさらに備え、
前記枠体は、その前記太陽電池側の部分に、前記裏蓋と当接する当接部を有する請求項１ないし９のいずれかに記載の時計。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
このような目的は、下記の本発明により達成される。
本発明の時計は、少なくとも１本の指針を有し、該指針を回転駆動するムーブメントと、
前記ムーブメント上に重ねて設置され、光を受光することにより電力を生成し、該電力を前記ムーブメントに供給する太陽電池と、
前記太陽電池の表側に重ねて設置されたリング状の枠体とを備え、
前記枠体は、前記太陽電池側の部分に、前記太陽電池を固定する太陽電池固定部と、該太陽電池固定部と異なる位置に設けられ、前記ムーブメントを固定するムーブメント固定部とを有することを特徴とする。
これにより、部品点数が少なく、組み立てや製造が容易な時計となる。